

平成30年度 第3回 湯沢町都市計画審議会 都市マスタープラン及び立地適正化計画の検討 議事録

1. 開催概要

○日 時：平成31年2月26日（火）15:30～17:15

○場 所：湯沢町役場 3階 議会第2会議室

○出席者：委 員）林会長、山口委員、宮田委員、角谷委員、師田委員、田村委員、赤沼委員、高橋委員、富樫委員、南雲委員、富井委員
事務局）地域整備部建設課 森下部長、丸山課長、関参事、青木主事

○議題

- (1) 検討経緯と今後の予定について
- (2) 第2回検討会での意見とその対応
- (3) 越後湯沢駅周辺におけるまちづくりについて

2. 議事概要

事務局	(開会)
委員	(前回欠席委員のあいさつ)
事務局	(以降、会長が議事を進行する)

(1) 検討経緯と今後の予定について

事務局 「(1) 検討経緯と今後の予定について」を説明。

(2) 第2回検討会での意見とその対応

事務局 「(2) 第2回検討会での意見とその対応」を説明。

- 会長
- ・ 「ALL YOUTH YUZAWA」という、色々な活動を行っている20～30代の若い人達のグループがある。そのグループから私どもの商工会にチャレンジショップをやりたいという話があった。チャレンジショップとは、例えば空き店舗の一角を1ヶ月だけ借りて試験的に販売を行なったり、集まれるスペースとして使うことである。物件を探していざやろうという所まで行ったが、理由は分からないが実現しなかった。
 - ・ その時、チャレンジショップの運営に公費を使う条件が、保健医療センター等へ来た高齢者のバスの待合室とチャレンジショップが共存することであった。チャ

レンジショップ側からは、50㎡程度のスペースの半分を高齢者のスペースにして、お茶を出す等の活動が可能ということであった。

- ・ チャレンジショップを完全に諦めた訳ではない。県の事業でもこういった取組みが可能であれば、商工会が事業主体になっても良いと思っているので、ご検討いただけるとありがたい。
- ・ 商工会に起業・創業を支援するインキュベーションセンターがある。資料7ページ右下にある写真のゲストハウスも、インキュベーションセンターで資金計画などを勉強した卒業生である。そういった背景から需要があると思うので、正式に賃貸契約するだけの資金力は無いが、アイデアはあるという若者が実験を行える場所として、若者を取り込めるのではないかと。1ヶ月チャレンジショップをやっただけで赤字だからやめました、ということでも良いと思う。1～2万円の家賃で月単位で借りられるのであれば、SNSなどを使って募集すれば、集まるのではないかと。それが湯沢のアドバンテージになる。東口の商店街は空き家があるので、空き家再生の取り組みの一環でチャレンジショップができると面白いのではないかと。
- ・ 健康福祉部の話では、65歳以上の方が一軒家に一人で住まわれているというケースが非常に増えている。その方達のケアをどうしていくか。デイサービスへ行くために、社会福祉協議会の方が30分除雪作業をしてから車に乗せたという話もある。そのため、前にも話した十日町や津南町にある冬場だけの高齢者だけのシェアハウスへの誘導や運営もやっていかなければならないと思う。冬場はどうしても雪かきというハンデがあるので、冬だけ試験的にシェアハウスをやることも考えて行かなければと思う。消防署は孤独死を心配しており、特に、マンションには住民票を出さないで移住して来た方の孤独死というケースが増えることを懸念している。
- ・ 皆さんからも何かあればご発言いただきたい。

委員

- ・ 今回、居住誘導区域と都市機能誘導区域が細かく設定されている。
- ・ 町役場は駅から離れているので仕方ないのかもしれないが、町役場を都市機能誘導区域の中に入れるか入れないかが気になっている。他の自治体の事例では役場は間違いなく誘導区域内の都市機能に位置付けられていると思う。資料の6ページの左下の図では、都市機能集積ゾーンの中に町役場が入っているが、8ページの都市機能誘導区域の図では、かなり区域が圧縮されている。他の自治体が役場の扱いをどうしているかを参考にされてはどうか。
- ・ 更に、町役場だけでなくカルチャーセンターは色々なイベントがあつて不特定多数の人が集まる場所である。町の軸である国道17号沿道の商業機能もまた都市機能だと思うが、区域に入っていない。湯沢町と環境や条件が似ている自治体を参考にして、居住誘導区域のボリューム感、例えば面積比率や人口比率、店舗数の比率等、そういった観点で湯沢町の都市機能誘導区域がこれで良いのかチェックしてみてもどうか。
- ・ 区域の設定の仕方は、ここまで細かく線を引くものなのか。私のイメージでは、6ページのゾーニング図くらい、ぼんやりとしたやり方もあるのではないかとと思

	<p>う。それも含めて他の自治体の事例を見て区域をチェックすることが必要だと思う。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・昔、長岡駅前には空き店舗がいっぱいあり、長岡市役所は駅からかなり遠い所にあった。そのうち市役所が駅の近くに新しく出来たが、個人的に最初は「何でこんなことをやるのか、人を集めるために行政サービスをわざわざ駅の近くに持って来るのか」と思っていた。しかし、まさに市役所を誘導したことで人が賑わう場所として成功したのだと思う。そういう意味では、長岡市とは規模が全く違うが、役場の機能が駅の近くにあって良かったのだろう。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・役場は歴史的な経緯があって駅から離れてしまっているが、本当は湯沢砂防事務所の前には住民サービスがあると良い。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・区域の設定については、6ページのようなぼんやりとしたものではなく、立地適正化計画では細かく線を引くという形になる。その前段階として、それぞれ都市機能集積ゾーンや観光交流ゾーンを設定し、絞り込んで区域を設定した。 ・6ページ左下の図は、前回の会議で新幹線駅の東口と西口でゾーンを分けていた。しかし、東口にも観光交流ゾーンがあり、西口にも一部都市機能があるという駅周辺の現況を踏まえると、きっちり線引きできるものではないので、緩やかにゾーンが重なり合っている部分を今回修正した。 ・役場を都市機能誘導区域の中に入れるかという件は、現段階では例えば、役場まで区域を広げるのではなく、公民館に一部機能を持たせるという形もあるのではないかと考えている。他の自治体の事例を確認の上、再度ご説明する。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・役場まで来ることはできても、帰りの足が無いので帰りにくい。その辺りを何とかすれば都市機能が向上するのではないかと。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・保健医療センターや公民館の中へ、町民課や税務課などの一般市民が利用する事務を取り扱うコーナーを検討していくという様な事をまとめてもらえると良いと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・6ページにあるように、駅東口の都市機能集積ゾーンをよく検討してもらいたい。西口駅前広場の改修に当たってはいろいろな意見が出て来てうまく行かないこともあった。東口についてはあまり急がず、よく検討して皆さんの意見を反映しながら、よく話し合っていたきたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・駅の東側や主水公園関係についてはこの会議も含めて検討を行っていく。なるべくスムーズに実現するようにしたい。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・前回までの内容と今回の意見をまとめ、ホームページや広報等、住民への公表を

準備していただきたい。

(3) 越後湯沢駅周辺におけるまちづくりについて

事務局

「(3) 越後湯沢駅周辺におけるまちづくりについて」を説明。

委員

(議題について自由討論)

事務局

- ・ 次回の開催は7月頃を予定している。それまでに住民説明会等を開催しながら検討を進めていきたいと思うのでよろしくお願いしたい。
- ・ 来年度は立地適正化計画と共に、町全体の都市マスタープランにも検討内容を反映する。
- ・ 次回は、施策について湯沢町の考えを説明する審議会となる予定である。
- ・ 以上を以って、今年度の都市計画審議회를終了する。

(閉会)